なっとくんの

なるほどなっとくニュース

2014年１２月３日　No.１２８

県立山口博物館
学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立博物館ホームページでダウンロードすることができます。

今年もナベヅルがやって来た

10 月 24 日に周南市八代にナベヅル第１陣１羽が渡来しました。その後第２陣３羽、第３陣３羽が渡来しましたが、１羽が八代地区外に出たようで、現在八代地区には６羽のナベヅルが渡来しています。ナベヅルはシベリアから越冬のために日本に渡来しますが、主な越冬地は、鹿児島県出水市と山口県周南市の２カ所だけで、どちらも特別天然記念物に指定され、大切に保護されています。

八代盆地と監視所

ナベヅルは大変警戒心の強い鳥です。観察の際は十分に注意をして下さい。

ナベヅルがいっぱい！！

と思いましたが、これはデコイと言ってナベヅルが安心して渡来できるように置いている模型です。左の写真は八代小学校児童による設置の様子です。

ナベヅルの越冬地分散化計画

八代でのナベヅルの渡来数は、昭和 15 年の 355 羽を最高に年々減少し、ここ数年は 10 羽弱です。それに比べ、鹿児島県出水市の渡来数は 11 月 15 日までに 14378 羽が渡来したそうです。このように、越冬地が一カ所に集中すると、伝染病が発生したときに多くのツルが病気にかかる心配があります。そのため、現在では佐賀県伊万里市や高知県四万十市などで越冬できるよう、越冬地の整備やデコイの設置を行っています。出水市で保護されたツルを八代から放鳥するのもその計画の一つです。

八代と出水への渡来数の比較

年度	26	25	24	23
八代	6(11/11 現在)	9	8	6
出水	14378(11/15)	12294	13138	13101

八代小学校による保護活動

ナベヅルの越冬地近くにある八代小学校では全校をあげてナベヅルの保護活動に取り組んでいます。毎年、９月から、水質調査や、ツルのねぐら整備、監視所の掃除、デコイの設置を行っています。他にも、ナベヅルのことを多くの人に知ってもらうために、３年生が「つるよ来い来い通信」を周南市内の小学校に、５・６年生が「つる日記」を地域に発信しています。